

令和 7 年度
学 校 要 覧



山梨市立日川小学校

〒405-0024 山梨県山梨市歌田 140番地1

T e l 0 5 5 3 - 2 2 - 0 7 4 2
F a x 0 5 5 3 - 2 2 - 9 9 2 5
E - mail hikawa@es-jhs.kai.ed.jp

校歌

作詞：向井房江／作曲：坂口五郎

1. めぐる山なみ 若やかに
春の光に もえいずる
野に少年の 輝きて
つどう日川の 学びの舎
2. 伸びゆく麦生の あげひばり
みのりの秋も 月雪も
流れてつきぬ 日川の
ひびきいそしむ わが友よ
3. こころ楽しく ふくよかに
文化のなみに いぶきして
わが世代を 新生の
のぞみあふるる わが母校



I 本校の概要

I 学校名 山梨市立日川小学校

II 所在地 山梨県山梨市歌田140番地1
東経138度41分31秒 北緯 35度39分43秒 標高 313m
電話 0553-22-0742 FAX 0553-22-9925
Email hikawa@es-jhs.kai.ed.jp

III 校舎校地 1) 運動場 10,552㎡
2) 校舎 2,729㎡ 3) 屋内体育館 921㎡

IV 沿革の大要

明治7年 5月 学制発布に伴い、上栗原海島寺を仮校舎とし、歌田学校が創立される。
明治8年 4月 南歌田76番地に日川小学校を設立、4月26日を学校創立記念日とする。
明治20年 3月 日川尋常小学校を呼称する。(4年制)
明治25年 7月 高等科(4年制)を併設、日川尋常高等小学校と改称する。
明治40年 8月 大水害に遭い、校舎校地流失、仮校舎で授業(8月24日)
明治42年 1月 下栗原617番地に1府9県・甲府共進会の建物払下げを受け校舎を建築移動する。
昭和2年10月 歌田140番地1の現在の位置に新校舎を竣工移転する。
昭和16年 4月 国民学校令施行、日川国民学校と改称する。
昭和27年 1月 日川小学校旗樹立
昭和28年 7月 日川小学校校歌制定
昭和29年 7月 町村合併に伴い、山梨市立日川小学校と改称する。
昭和33年 3月 給食室竣工し、完全給食実施となる。
昭和34・35年度 統計教育研究指定校
昭和45～47年度 学校保健統計指定校
昭和45年 4月 中学校の実質統合により屋体(昭和42年3月竣工)を小学校に移管する。
昭和48年 1月 校庭にムーンライミング・回転スケーター・低鉄棒設置
昭和49年 4月 創立百周年記念式典挙行
昭和53年 6月 新校舎落成式典及び祝賀会(16日)
昭和54～56年 文部省体力づくり推進校
昭和55年 9月 プール落成式
11月 学校体育地域推進校として公開研究会(13日)
昭和56年 2月 県学校体育研究会より学校表彰を受ける。
昭和56年11月 文部省指定「体力づくり」公開研究発表会
昭和57年 4月 「体力づくり」文部省体育局長表彰を受ける。
10月 「体力づくり」全国表彰を受賞
昭和57年～ 「体力づくり」研究・自主公開(～平成元年)
昭和58年 2月 「体力づくり」全国表彰受賞記念碑PTA建立
9月 散水施設完成
11月 「体力づくり」山人会・団体賞受賞
昭和59年 1月 大川倉横結操法・市消防出初式にて日川小水防隊披露
昭和61年10月 「日川少年男子バレーボール開会式」にて、ボール集団演技披露
平成3年～4年 「心を耕す読書活動」県指定研究校
平成4年 3月 「ふれあいの池」設置
平成7年 4月 県指定「ビバ・小学生国際理解活動推進校」
10月 飼育小屋移転増築
平成9年 4月 県指定平成9年読書活動推進モデル校
平成10年 4月 校庭クスノキが市の天然記念物に指定される。

平成11年	5月	「川倉」3団体より表彰（県・県民会議・日本善行会）
平成12年	1月	給食調理棟改築 竣工式（11日）
	7月	パソコン22台設置 保健室エアコン設置
平成13年	4月	「平成13・14・15年度ボランティア活動普及協力校」指定
	6月	プールに温水シャワー及び電話機を設置
平成14年	4月	「地域ふれあい道徳推進事業」推進校
平成16年	2月	屋内体育館竣工式
	6月	日本水大賞「国土交通大臣賞」受賞
平成17年	5月	平成17・18年度文部科学省委託「生活習慣病予防等を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業」実施地域（学校）に指定される。
	5月	大川倉横結操法を第54回利根川水系連合水防演習のオープニングで披露
平成19年	1月	山梨県学校保健会表彰 手塚賞受賞
平成20年	2月	山梨県口腔衛生優良学校 山梨県歯科医師会会長表彰
	3月	北倉庫・敷地東側フェンス・南門前横断歩道設置
平成21年	5月	日本水大賞「国土交通大臣賞」受賞記念碑建立
	7月～8月	耐震・大規模改修工事
平成22年	3月	地上デジタル対応テレビ・電子黒板の設置・パソコン入れ替え
	2月～3月	太陽光発電パネル設置工事
平成22年	12月	プール改修工事開始（～平成23年1月）
平成23年～24年		山梨県教育委員会「学力向上パイロットスクール事業」指定校
平成26年	12月	山梨市英語教育推進委員会授業公開実施（2年生）
平成27年	9月	グラウンドスピーカーシステム設置
	10月	一輪車13台新規購入
平成28年	6～9月	校舎エアコン設置工事
	2月	山梨県学校保健会表彰 準健康推進優良学校受賞
平成30年	4月	平成30年度地域で取り組む学校元気アップ事業推進校指定
令和 元年	5月	日本赤十字社青少年赤十字加盟
令和 2年	4月	山梨県教育委員会よりNIE推進事業「NIE推進事業指定校」に指定される
令和 3年	2月	給食配膳室エアコン設置
	2月～3月	GIGAスクール構想による環境整備（Wi-Fi環境整備及び153台の端末機導入）
令和 4年	1～3月	外トイレ改修工事
	2月	クスノキ剪定作業
令和 4年	12月	「大川倉横結操法」の伝承活動の取組 第1回「チャレンジ150山人会賞」受賞
令和 6年	1月	校舎内および体育館の全電灯LED化が完了
令和 6年	5月	校庭夜間照明LED化
令和 6年	8月	体育館非常灯設置工事（非常災害時における避難所用）
令和 6年	9月	ちびっこ広場遊具撤去工事、ウサギ小屋撤去及び跡地整地

【地域の歴史】

昭和29年7月1日、町村合併促進法によって、日下部、加納岩の2町と八幡、岩手、山梨、日川（ひかわ）、後屋敷の5村が合併して山梨市が誕生し、平成17年3月22日には山梨市、牧丘町、三富村が合併して（新）山梨市が誕生した。

日川地区は、山梨市の最南部に位置し、南を流れる日川（にっかわ）と北を流れる重川とに挟まれた平坦な地である。東から、中村、上栗原、下栗原、歌田、一町田中の5地区から成り、果樹栽培に適した土壌で葡萄及び桃の一大生産地として県内外にその名が知られている。

古くは、徳川時代、田安陣屋も田中におかれ、南部を甲州街道（現在の国道411号線）が走り、政治、文化の重要地点であった。後年、旧制日川中学校（現在の県立日川高等学校）が存置され、峡東地区の教育文化の中心をなしてきた。

明治40年、大水害に見舞われ、当時の地区民は大打撃を受けたが不撓不屈の精神とたゆまざる努力によって漸次復興し、時代を先取りし、いち早く果樹栽培の農業形態に切り替え、今日の繁栄を築き上げてきた。

2 学校経営の概要

I 学校教育目標

「心身ともに健康でたくましく、自他を思いやり、
自ら学び、考え行動する児童の育成」

〔目指す児童像〕

1. 健康安全に努め、生命を大切にする子ども
2. 自ら深く考え、進んで学習する子ども
3. 思いやりの心を持ち、励まし合い、協力する子ども
4. よく働き、最後までやり抜く子ども

II 学校経営の努力点と具体策

『バランスのとれた知・徳・体の育成』 基盤は『学級経営の充実』

- ①教師と児童との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育てる土台となる、学級づくりに取り組む。
- ②児童に所属感、自己有用感を持たせる取り組みを工夫し、一人一人のよさや可能性を生かすように努める。

1 「確かな学力」の育成

◇「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」への授業改善及び評価に取り組み、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に努める。

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学習者を主体とした授業展開に努める。
- ②スタートカリキュラムや学級開きを確実に実施し、学習環境を整える。
- ③ICTを効果的に活用した授業を計画的に実施し、情報活用能力の育成に努める。

2 「豊かな心」の育成

◇魅力的な集団づくり、環境づくりなど、切れ目のない組織的支援体制づくりに努める。

- ①多様な価値観等を尊重できる人権感覚を涵養する。
- ②組織的な支援体制を充実させるため、SC等を活用し、関係機関との連携を図る。
- ③いじめ・不登校が生じにくい魅力ある教育活動を推進する。

3 「健やかな体」の育成

◇体力の向上と健康教育・安全教育の充実に努める。

- ①実施方法を工夫して、運動に親しませ、望ましい生活習慣の定着を通じて体力の向上を図る。
- ②食や健康について、自ら適切な行動をとることができるよう具体的、実践的な指導を継続する。
- ③安全教育を推進し、自分で自分の身を守る能力を育む。

4 「地域や世界で活躍できる人材」の育成

◇郷土への理解やグローバルな視点を重視し、社会的・職業的自立に向け、将来に必要な能力や態度の育成に努める。

- ①地域連携等により、川倉をはじめとする伝統文化の継承を通して、ふるさとへの関心を高める。
- ②専科教員による英語科教育を推進し、4技能5領域の言語活動の着実な実施と計画的なパフォーマンス評価によりコミュニケーション能力を育成する。
- ③学びをつなぐ系統的な取組により、キャリア発達を促す。

5 「特別支援教育」の推進

◇特別支援教育に関する専門性の向上を図り、多様な学びの場における教育の充実に努める。

- ①特性に配慮したユニバーサルデザインの授業づくりと、多様性を認め合える集団づくりを推進する。
- ②特性の理解の促進と、必要な支援の充実に努めるために研修会や校内委員会を実施する。
- ③支援計画の作成と支援内容の検討及び評価の充実に努める。

6 家庭や地域から信頼される学校づくり

①川倉活動をはじめ、地域に根ざした学習を継承・発展し、郷土愛を育てる。

②地域の一員として、地域行事に進んで参加できるようにする。

③地域の自然・歴史・文化を生かした教育を推進する。

④地区の社会福祉協議会や体育振興会、青少年育成市民会議などの地域諸団体と連携し、地域とともにある、信頼される学校づくりに努める。

7 互いに教え合い、学び合う教職員集団をつくる

①職員が自己の責務を自覚し、積極的に学級経営、学校運営に関わるようにする。

②報告・連絡・相談・確認を互いに励行し、職員間での意思の疎通を図る。

③相手の立場や自分の役割をよく理解し、協働的に取り組む。

④授業や生徒指導を中心に、他の職員の実践から謙虚に学ぶことができるようにする。

3 日川小学校 グランドデザイン

令和7年度 山梨市立日川小学校 グランドデザイン



4 年間行事の概要

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
主 な 行 事	入学式、新任式、始業式 交通安全教室（1・2年） 1年給食開始 1年生を迎える会 個別懇談 避難訓練（火災） 授業参観、PTA総会、学年部会 学校創立記念日 自転車教室（3・4年） 児童会総会（3～6年） 避難訓練（不審者侵入） 東山梨陸上記録会（6年） 6年修学旅行 体力テスト 土曜参観・引渡訓練 プール開き 防犯教室 避難訓練（浸水・垂直避難） 個別懇談 水泳記録会（6年） 終業式	始業式 避難訓練（地震） 自然教室 秋季大運動会 授業参観、学年部会 東山梨音楽発表会（4年） 交流グランドゴルフ（6年） 福祉講和（5年） 校内マラソン大会 日川小祭り 個別懇談 スケート教室（3・4年） 児童会役員選挙 終業式	始業式 川倉集会 スキー教室（5・6年） 授業参観・学年部会 児童会総会（3～6年） 6年生ありがとう集会 卒業証書授与式 修了式 離任式
	<年間を通して> きずなの日 さわやかタイム（朝学習・朝読書） 業間運動 全校集会 音楽集会 児童集会 愛校作業 縦割り班活動 委員会活動 クラブ活動 安全点検 歯みがきタイム（昼休み） 発育測定 地区児童会 各種健康診断		

5 日課時刻表

	平常日課	短縮日課 （にっかわなし）	水曜日 （にっかわなし）
児童登校	8:15	8:15	
さわやかタイム	8:15 ~ 8:30	8:15 ~ 8:30	
朝の会	8:30 ~ 8:40	8:30 ~ 8:40	
1校時	8:40 ~ 9:25	8:40 ~ 9:20	
2校時	9:30 ~ 10:15	9:25 ~ 10:05	
にっかわタイム	10:20 ~ 10:30		
中休み	10:30 ~ 10:35	10:05 ~ 10:20	
3校時	10:40 ~ 11:25	10:25 ~ 11:05	
4校時	11:30 ~ 12:15	11:10 ~ 11:50	
給食	12:15 ~ 12:55	帰りの会 11:55 ~ 12:05 給食 12:05 ~ 12:45	
昼休み	12:55 ~ 1:10	12:45 ~ 12:55	
そうじ	1:15 ~ 1:30	1:00 ~ 1:15	
5校時	1:35 ~ 2:20	1:20 ~ 2:00	1:00 ~ 1:40
6校時	2:25 ~ 3:10	2:05 ~ 2:45	学力upタイム 1:45 ~ 2:15 4・5・6年
帰りの会	3:10 ~ 3:20	* 4校時終了後に行う	
児童下校	4:00	短縮4校時 1:00 短縮5校時 2:05 短縮6校時 2:50	1:45 学力up実施日 4・5・6年 2:20
職員打ち合わせ	4:15（金）		

委員会・クラブのある曜日	短縮日課	短縮日課4校時
帰りの会	職員会議・校内研究	個別懇談期間
委員会	行事関連	行事関連
クラブ	事務処理日	年度末事務処理

6 校内研修計画

- 1 研究主題 主体的・協働的に学び、豊かに表現する児童の育成
～ICTを活用した学びを深める授業づくりを通して～
- 2 研究の具体的内容と方法
- (1) 授業研究 ○授業参観 ・日常的に空き時間を活用しての参観 ○一人一実践
 - (2) 理論研究 ○外部講師による学習会 ○センター研修
 - (ア) ICTと紙媒体の使い分けについて
 - (イ) 学習過程におけるICTの効果的な活用について
 - (ウ) 個別最適な学びについて
 - (3) 学級力向上プロジェクト ○学級力向上アンケート(端末活用)
 - (4) ICT研修 ○授業参観 ・日常的に空き時間を活用しての参観
○外部講師による学習会 ○校内研修
 - (5) 今日的教育課題関連の学習会

3 年間研究計画 *がついている日は職員会議後、校内研を行う。

No.	月	日	研究内容	担当	備考
1	4	9	今年度の研究について①	研究	
2	4	16	今年度の研究について② 確定 学級力アンケートについて	研究 情報	
3	4	*30	緊急時対応研修会	養護教諭	
4	6	4	理論研究①	研究	講師要請 or 校内研修
5	6	19	理論研究②	研究	特別研修会 I
6	7	*2	理論研究③	研究	講師要請 or 校内研修
7	7	16	学級の課題把握	個人	
8	8	*20	教育課程還流報告	該当者	
9	9	3	授業研究①	個人	
10	10	8	授業研究②	個人	
11	10	22	実践計画①	個人	
12	10	29	実践計画②	個人	
13	11	12	今年度のまとめ、来年度への方向性①	研究	
14	12	*3	実践のまとめ	個人	
15	12	10	今年度のまとめ、来年度への方向性②	研究	
16	1	21	次年度の構想	研究	
17	2	*4	研究紀要の作成①	研究	
18	2	*25	研究紀要の作成②	研究	

10 教職員組織

	職 名	氏 名
1	校 長	清水 誠治
2	教 頭	藤波 貴
3	教 諭	高野恵美子
4	教 諭	那須 美佳
5	教 諭	行田 玲子
6	教 諭	飯嶋 瞳香
7	教 諭	廣瀬 哲也
8	教 諭	鈴木 陸人
9	教 諭	望月 泰祐
10	教 諭	三枝 剛
11	教 諭	望月 清美
12	非常勤講師	清水 利子
13	非常勤講師 学力向上支援スタッフ	竹川きよみ
14	非常勤講師	中村 宏樹
15	養護教諭	齊藤ふみ香
16	事務職員	古屋 聡
17	栄養教諭	萩原 香織
18	特別教育支援員	雨宮由美子
19	特別教育支援員	安永 浩助
20	特別教育支援員	古屋 摩美
21	図書館司書	古屋 理江
22	NLT	林 マイケル
23	英語専科	大柴 由美
24	スクール カウンセラー	國政 友子
25	用務員	永田 正幸
26	配膳員 スクールサポートスタッフ	三枝理恵子
27	教 諭	新海 直仁
28	教 諭	平塚すみり